

2019年度事業計画書

自 2019年4月 1日

至 2020年3月31日

公益財団法人山田科学振興財団



2019 年度事業計画書

当財団は、自然科学の基礎研究を助成振興し、もって我が国の科学研究の向上発展と人類の福祉に寄与することを目的としている。この目的を達成するため、自然科学における多岐の分野に渡って、基礎的研究に対する援助、研究者の海外派遣に対する援助、学術集会の開催及び援助を行う。

当財団の事業活動の財源は、設立者である故山田輝郎の私財を原資とした寄附金であり、その内訳は 2018 年 3 月 31 日現在、基本財産 31 億 0133 万円、特定資産 1 億 9357 万円、その他の財産 5854 万円である。これを運用して現在の事業規模を維持するためには 2%以上の運用利回りが必要と試算しているが、日銀の金融政策による超低金利環境は依然として続いており、従来国内債権中心の運用でこれを達成するのは困難である。そのため、当面はポートフォリオに外貨建債券を組み込む等により運用収益の改善を図りながら、事業規模の維持に重点を置く。

I 自然科学の基礎的、学際的研究に対する援助

1. 研究援助

物理、化学、生物・医学の各分野における基礎研究に対して研究費の援助を行う。

1) 募集

主として独立した研究者を対象として公募を行う。募集要項を本財団ホームページ上に掲載するとともに、広く大学や公的研究期間、さらに基礎分野に関連した多数の学会に案内する。研究者からの申請書は本財団が指定する学会、もしくは本財団関係者（ただし選考委員は除く）から推薦を受けた応募のみを受理する。

2) 選考

選考は書面による一次審査の後、各領域の専門家から成る選考委員会により援助対象者の採択を審議し、理事会にて決定する。選考は、以下の点を考慮する。

- ・ 萌芽的・独創的研究
- ・ 新規研究グループで実施される研究
- ・ 学際性、国際性の観点からみて優れた研究
- ・ 国際協力研究

評価が定着して研究資金が得やすいものより、高い目標を掲げた萌芽的・挑戦的基礎研究を重視する。

3) 成果報告と研究交歓会

前年度末に研究期間が終了した研究者（2017 年度研究援助受領者）から研究成果報告書の提出を要請・受領すると共に、同研究者及び本財団関係者を招集して成果内容について相互に議論する研究交歓会を開催する。

4) 予算と実施計画

- ・ 研究援助 3,000 万円
- ・ 研究援助採択数 15 件
- ・ 研究交歓会 330 万円

(主として 2017 年度研究援助受領者による研究成果報告会ならびに本財団関係者による講演会を実施する。)

II 自然科学の研究を行うための招聘・派遣、その他国際学術交流に対する援助

1. 長期間派遣援助

海外における学識交換を通じて学術の国際交流を促し、また協同研究によって相互に研究の学際的あるいは国際的な進展を図るため、長期間海外派遣(6 ヶ月～1 年間)に要する渡航費、滞在費等の一部を援助する。

1) 募集

募集要項を本財団ホームページ上に掲載するとともに、広く大学や公的研究機関等に案内する。援助を希望する研究者からの直接応募を受け付ける。

2) 選考

選考は、まず研究主題、派遣の目的や必要性、派遣先での行動計画などについて書面審査を行い、その結果を参考にして選考委員会によって派遣援助対象者を採択し、理事会にて決定する。

3) 成果報告と長期間派遣者研究交歓会

派遣期間が終了した研究者に成果報告書の提出を要請・受領すると共に、同研究者および財団関係者を招集して成果内容について相互に議論する長期間派遣者研究交歓会を開催する。

4) 予算と実施計画

- ・ 長期間派遣援助総額 70,000 USD
- ・ 採択数 7 件
- ・ 長期間派遣者研究交歓会 200 万円

(主として 2017 年度の長期間派遣援助受領者による研究成果報告会を 10 月に実施する。)

III 自然科学に関する学術集会の開催援助

本財団が開催援助する学術集会は、内外の研究者が最先端の研究内容を講演、討議する「山田コンファレンス」と、現在活躍しているシニア研究者と次世代での活躍が期待されている若手研究者が対話・交流する「山田シンポジウム」の 2 種の国際学術集会とする。また、主催する学術集会は、若手研究者の発案・組織により

異分野間での議論を行う「山田研究会」とする。以下に示すように本年度は、第 71 回山田コンファレンスの援助、2021 年度開催予定の国際学術集会の選考、2022 年度開催予定の国際学術集会の公募を行う。尚、山田研究会については、随時、推薦する企画を募る。

1. 国際学術集会

1) 募集

2022 年開催予定の国際学術集会として以下の要件を満たすものを募集する。

- ① 基礎科学の適切なテーマについて国際的視野で最高レベルの研究の現状を総括する
- ② 基礎科学研究者の世代間の対話によって、若い世代の研究の発展の基礎を構築する
- ③ 基礎科学の異分野間の交流を図り、**cross disciplinary** な討論を通じて、新しい発展を模索する

これらの要件に従い、山田コンファレンスとは、①を主とし、②、③を従として満たす集会とする。また、山田シンポジウムとは、②を主とし、③を満たすことを強く意識するか、あるいは③を主とした集会とする。

2) 選考

既に公募している 2021 年度開催予定の国際学術集会について選考委員会にて採択を審査し、理事会にて決定する。

3) 開催と成果報告

既に採択が決定している第 71 回山田コンファレンスの開催援助を行うと共に、終了後に報告書等（**Proceedings**、成果報告書、収支報告書、等）の提出を求める。

4) 予算と実施計画

本年度開催の第 71 回山田コンファレンスの援助額は 510 万円とする。2022 年度開催予定の国際学術集会は、予算額 800 万円以下、採択件数は原則として 1 件として公募する。

2. 山田研究会

1) 推薦

山田研究会は若い世代の基礎科学研究者の自由な発想の交換と相互啓発を促進する小規模な集会とし、基礎科学の異分野間の交流を図り、**cross disciplinary** な討論を通じて、新しい発展を模索することも強く意識するものである。山田研究会の開催責任者は選考委員以外の本財団関係者の推薦を要する。

2) 選考

選考委員会にて採択の可否を審査し、採択の場合は理事会にて決定する。

① 開催と成果報告

開催は財団主催とし、開催責任者に報告書の提出を求める。

② 実施計画と予算

山田研究会の予算は 100 万円とし、原則として 1 件を採択・実施する。

IV 公募・選考スケジュール

1. 2022 年度開催予定の国際学術集会の公募

募集期間 : 2019 年 4 月 1 日～2020 年 2 月 28 日

2. 2020 年度 研究援助の公募

募集期間 : 2019 年 10 月 1 日～2020 年 2 月 28 日

3. 2020 年度 長期間派遣援助の公募

2020 年 4 月 1 日～2021 年 3 月 31 日に海外へ出発するものを対象とする。

募集期間 : 2019 年 8 月 1 日～2019 年 10 月 31 日

4. 選考スケジュール

1) 研究援助、国際学術集会及び山田研究会

第 1 回選考委員会 : 2019 年 5 月 26 日

第 2 回選考委員会 : 2019 年 7 月 27 日

第 2 回臨時理事会 (決定承認) : 2019 年 7 月 27 日

2) 長期間派遣援助

第 1 回臨時選考委員会 : 2020 年 2 月中

第 2 回定時理事会 (決定承認) : 2020 年 2 月 22 日

V その他

1. 財団ニュース

本財団の機関紙である財団ニュースを年 2 回発行し、当財団関係者、研究援助や長期間派遣援助の受領者、山田シンポジウムや山田研究会の関係者に配布、コミュニケーションの一助とする。

2. 事業報告書

第 42 回事業報告書 (2018 年度) を発行する。

事業計画概要

自然科学の基礎的、学際的研究に対する援助

事業名	実施計画	予算額
研究援助	15件 採択予定	3000万円
研究交歓会	5月25日・5月26日実施予定	330万円

自然科学の研究を行うための招聘・派遣、その他国際学術交流に対する援助

事業名	実施計画	予算額
長期間派遣援助	7件 採択予定	70,000 USD
長期間派遣者研究交歓会	10月12日予定	200万円

自然科学に関する学術集会の開催援助

事業名	実施計画	予算額
第71回山田コンファレンス開催援助	10月28日～11月1日予定	510万円
2021年度国際学術集会	1件 採択予定	800万円以内
2022年度国際学術集会	4月1日より公募予定	800万円以内
山田研究会	1件 採択、実施予定	100万円

本事業計画書に変更がある場合、基本的な変更は理事会の決議を要するが、日時の変更など基本的な変更でない場合は理事長に一任する。